



千葉県
松井歯科医院

松井 亮二
先生

今回のアイテム

フィルムホルダー／X線撮影補助ホルダー

撮影位置が同条件で規格化された撮影を

通常、デンタル撮影を行う

際、デンタルフィルムを患者さんに指で押さえて頂き、照射コートの位置を決めて撮影を行っています。

ところが、レントゲンのコートの角度、フィルムとの距離が撮影毎にバラバラになってしまふ為、様々なトラブルが発生

します。

「歯牙の長いX線像になってしまう。」「術前、術後の比較写真で歯牙の長さが異なる。」等が挙げられます。

何度も撮り直すか、そのまま診療を続けているのが現状だと思います。また、指で押さえたいフィルムがたわみ、歪んでし

まったり、コートの位置決めに時間がかかってしまふ事もあります。

カーシヤパンのフィルムホルダー・センサーホルダーシリーズはこの様なトラブルを回避するのにとても有効です。前歯部用は緑、臼歯部用は赤とカラーコード化され、そのシ

ンプルな構造はどなたにも使

いやしく、簡単に撮影位置を固定し、毎回同条件で規格化された撮影を行う事ができます。また、バイトウイング撮影用やエンド用のタイプもあり、18枚法にも対応します。デンタルフィルム用とは別に、CCDセンサー用もラインナップされて

います。

診査診断から経過観察まで、撮影位置が同条件で規格化されたX線写真は信頼性も高く、日々の診療にとっても有効です。